

神奈川県スキー連盟  
法人化最終報告書

法人化の歩み

(県連マーク)

平成9年4月20日

財団法人 神奈川県スキー連盟

## ごあいさつ

春うららの季節を迎えました。皆様ご健勝のこととお喜びを申し上げます。平素は当神奈川県スキー連盟の活動に格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

昨年5月、私たち神奈川県スキー連盟は念願の財団法人の資格を得ることができました。

法人という資格は皆様ご高承のとおり、我々の団体にとって長い間の社会への貢献や活動が認められ、晴れて公に認知を受けた証しであります。この長き活動に労苦を厭わずご奉仕された多くの先輩諸兄のお陰であることに、改めて感謝を申し上げる次第であります。

そして更に、ここに至るまでには、教育委員会の関係者のご指導、上部団体であります全日本スキー連盟並びに体育協会のご支援、協賛会員の方々からの多大な基金のご寄贈会員各位のご支援、ご寄付、そして直接準備に携わった執行部の関係者、それら多くのかたがたの長い間のご尽力により夢がかなえられたと私は思っております。本当に皆様に心から御礼を申し上げたいと思います。

さて、社会環境は高齢化の社会へと移りつつあり、従来の社会体育の姿とは今後大きく変化していくものと想像されます。このような環境にあって間もなく21世紀を迎える訳ではありますが、この資格は法人という形だけではなく、これからは公人の組織として大きな責任を背負い、社会にさらに貢献するよう示唆を与えられたものであります。

私たちの連盟は法人化という夢を実現させ、60周年という契機を間もなく迎えます。これを機会に従来に増して皆様と手を携え、今まで以上に社会への貢献、連盟の発展を期して行きたいと願うものであります。今後とも我ら神奈川県スキー連盟にお力をお貸しいただくようお願いを申し上げ、ごあいさつに代えさせていただきます。

本当にありがとうございました。

平成9年4月吉日

財団法人 神奈川県スキー連盟

会長 河野 洋平

## 法人化の歩み(主な経過)

- 1988年評議員会：方針第6項に『県連法人化の研究』を初めて公言。
- 1989年 3月：法人化検討委員会設置を理事会決定。
- 1989年評議員会：法人化への方向（必要性・可能性の検討活動）説明＝承認
- 1989年 9月：第1回検討委員会開催
- 1990年評議員会：経過報告及び難題解決方針。検討委員会を継続＝承認
- 1991年評議員会：経過報告。方針では法人化するための準備を進める事を謳う。
- 1992年5月協会長・理事長会議：法人化の必要性和"社団化"について説明。
- 1992年評議員会：法人化を必要とする結論に達したこと、並びに可能性ありと報告。  
但し基金3億円（財団）は調達面で困難、社団で進めると回答。  
検討委員会から準備委員会に移行することを決定＝承認
- 1992年 8月：推進組織を強化。推進室を設置すると共に専任理事を配置。
- 1992年 10月：第1回『準備委員会』開催
- 1993年評議員会：報告では、 法人化する。（1992年評議員会決定事項）  
形態は社団とする。  
現在の組織形態は大きく崩さない。  
全県合意を原則とする。以上が承認された。  
方針では、 社団法人で申請するための詰めを行う。  
（必要に応じ）現行組織の見直しを図る。＝決定
- 1994年評議員会：経過報告、年度方針では“年度内決着”を織り込んだ。
- 1994年 8月：県当局との具体的な折衝を開始。（以降再三折衝）
- 1995年評議員会：財団（特例処置、基金1億円で）の可能性を報告。
- 1995年10月20日臨時評議員会：経過報告並びに財団化を決定。  
基金調達法については決定できず協会長・理事長会議に付託決定。  
有資格者登録料の前納を中心とする資金集めを決定。
- 1996年5月13日：再三の事務折衝の結果、予備申請に到達。24日審査完了。
- 1996年5月27日：本申請
- 1996年5月31日：『財団法人神奈川県スキー連盟』設立許可下りる。

## 財団基金の記録 (単位 万円)

協賛会員ご寄付	135
加盟・所属団体、会員有志ご寄付	218.5
協会ご寄付	485.3
執行部寄付	178
特別会員基金	592.6
有資格者登録料前納金	365.3
指導委員会より借り入れ	100
特別会計より移管	2787.4
一般会計より補填	1860.2
合 計	10,000 円

## ご寄付いただいた方々

### 協賛会員ご寄付 (単位 万円) (役職はご寄付いただいた時点のものです)

(車山)信州総合開発観光株式会社殿	50	佐々木 峻 氏 (SAJ 理事)	10
株式会社野辺山ハイランド 殿	50	五十嵐正明氏 (小田原協会副会長)	10
白馬五竜とおみ47観光協会 殿	30	小林 幹夫 氏 (相模原市協会長)	10
日動火災海上保険株式会社 殿	1	井上 敏郎 氏 (厚木市協市会長)	10
株式会社毎日ツーリスト 殿	1	岩崎 義隆 氏 (相模原市協会副会長)	7
馬フホテル ル・グラン・シャリオ 殿	1	故 上島秀男氏 (横須賀協会副会長)	7
(有)駒瀬印刷所 殿	1	大房 英一 氏 (藤沢協会副会長)	7
水島保険サービス 殿	1	小島 祐嘉 氏 (参与、横浜)	5
合 計	135	和久井民雄氏 (平塚協会長)	5
		今野 充雄 氏 (藤沢協会理事長)	5

団

### 体・会員有志ご寄付

		石渡 善司 氏 (綾瀬市協会長)	5
押川 泰夫 氏 (顧問、逗子)	30	飯島 宏俊 氏 (エキスパートSC会長)	5
川崎スキー協会役員有志殿	28.5	木村 信吉 氏 (相模原市協会理事長)	3
茅ヶ崎スキー協会役員有志殿	17	石田 久夫 氏 (顧問、茅ヶ崎協会長)	3

楓山 一登 氏 (顧問、小田原)	1 0	平塚スキークラブ殿	3
山上 晃 氏 (逗子協会理事長)	3	<b>執行部</b>	(単位 万円)
渡辺 正美氏 (大和市協会長)	3	河野 洋平 (SAK会長)	3 0
厚木市役所スキークラブ殿	3	本田 安男 (SAK副会長)	2 0
高橋 晃 氏 (南足柄協会長)	3	片岡 春夫 (SAK副会長)	2 0
山崎 勉 氏 (顧問、横浜)	2	鈴木 忠昭 (SAK副会長)	2 0
宮園 節 氏 (秦野市協会長)	2	柴田 伸彦 (SAK理事長)	1 0
荒井 一美 氏 (津久井協会長)	2	佐藤 嘉彦 (SAK副理事長)	1 0
大賀 栄 氏 (座間市協会理事長)	2	廣瀬 稔 (SAK監事)	7
白石 英三氏 (顧問、横須賀)	1	徳田 耕作 (SAK監事)	7
小林 敬二 氏 (顧問、平塚)	1	佐伯 英雄 (SAK総務部長)	5
大久保早苗氏 (顧問、逗子)	1	山田 隆 (SAK普及部長)	5
星野 豊 氏 (顧問、座間市協会長)	1	山田 力 (SAK強化部長)	5
小室 静雄 氏 (小田原協会副会長)	1	早川 博基 (SAK理事)	3
木村 徳善 氏 (小田原協会理事長)	1	小松 良昭 (SAK理事)	3
斎藤 正三 氏 (平塚協会副会長)	1	平澤 幸一 (SAK理事)	3
渡部 節 氏 (平塚協会理事長)	1	勝又 敬夫 (SAK理事)	3
山本 英雄 氏 (津久井協会理事長)	1	水島三千夫 (SAK理事)	3
長谷川光一氏 (南足柄協会副会長)	1	近藤 公昭 (SAK理事)	3
天津 稔 氏 (南足柄協会理事長)	1	根本 孝夫 (SAK理事)	3
川岸 保貴 氏 (愛川協会副会長)	1	三塚 康雄 (SAK理事)	3
阿部 常雄 氏 (綾瀬協会理事長)	1	宮下 潤一 (SAK理事)	3
永田憲市郎氏 (横浜)	1	飯塚 明巳 (SAK理事)	3
芦川 明 氏 (逗子スキークラブ <sup>※</sup> 会長)	1	工藤 政蔵 (SAK理事)	3
合 計	2 1 8 . 5	小野寺忠直 (SAK理事)	3
		小山 正治 (SAK理事)	3
		合 計	1 7 8

## 旧特別会員ご芳名 (特別会員基金を全額ご寄付いただきました)

野野 洋平 氏	大久保早苗氏	佐藤 隆正 氏	石川 嘉吉 氏
黒川 秋三 氏	西村 金則 氏	加茂壽一郎氏	鈴木 正儀 氏
清野伴五郎氏	小川 實 氏	丸山 禮子 氏	榎本 賀吉 氏
柳沢須佐男氏	星野 豊 氏	堂垣内伸好氏	山本 信義 氏
佐々木三郎氏	押川 泰夫 氏	山崎 勉 氏	窪田 篤 氏
小林 敬二 氏	飯田 宣男 氏	楓山 一登 氏	片岡 春夫 氏
斎藤 静雄 氏	石田 久夫 氏	安藤 弘基 氏	大澤 保男 氏
北田 倉吉 氏	佐藤要次郎氏	遠藤 功 氏	青木 規生 氏
鏡 孝作 氏	細井 健吾 氏	清水 清則 氏	
内田 武男 氏	小林 茂 氏	古川 幸一 氏	
松浦益司郎氏	笹貫 敏男 氏	村石 勇 氏	
田中 正誼 氏	石橋 文雄 氏	和久井民雄氏	

注記：特別会員とは、

旧神奈川県スキー連盟時代に、現在の事務所を取得する大事業が敢行されました。

当時、購入資金調達に困難を極めておりましたが、その資金の一部をご提供いただいた方々を、特別会員として処遇させていただいて参りました。

その後、当時の資金に見合う基金作りを行い、特別会計として管理して参りましたが、今回の財団化に伴い、特別会員の方々のお許しをいただき、全額を法人の基金にさせていただきました。

法人化後、特別会員制度はなくなりましたが、上記の方々を功労会員として末長く敬うことに致しました。

## 加盟団体(協会)ご寄付及び有資格者登録料前納者

協 会	協会 寄付金	有 資 格 者 登 録 料 前 納 者 数(人)				
		4 年 分	3 年 分	2 年 分	合 計	在 籍 者 数
横 浜	5 0 万 円	6 1 8	5 7	4 3	7 1 8	8 9 4
川 崎	5 0	3 5 4	2 3	2 6	4 0 3	4 1 1
小 田 原	5 0	1 3 0	1 4	4	1 4 9	1 4 9
横 須 賀	3 0	2 5	4	0	2 9	3 0
相 模 原 市	5 0	1 2 1	5	2	1 2 9	1 2 8
茅 ヶ 崎	2 0	2 6	4	1	3 1	3 2
藤 沢	3 0	9 1	4	3	9 8	9 8
平 塚	3 0	4 9	4	3	5 6	5 5
鎌 倉	2 0	3 8	2	0	4 0	4 2
逗 子	1 0	1 8	1	1	2 0	2 0
大 和 市	2 0	4 1	2	1	4 4	4 4
足 柄	1 0	1 1	1	0	1 2	1 4
秦 野 市	1 0	1 3	3	2	1 8	1 8
座 間 市	1 0	2 0	3	3	2 6	2 6
伊 勢 原 市	1 0	2 3	3	2	2 8	2 8
厚 木 市	2 0	5 9	6	5	7 0	7 1
津 久 井	3 0	3 2	2	1	3 5	3 6
南 足 柄 市	1 0	1 8	2	1	2 1	2 2
高 体 連	3 0	2	0	0	2	2
愛 川 町	2	0	1	0	1	1
綾 瀬 市	5 . 3	4	2	3	9	1 0
合 計	4 8 5 . 3	1,693人	144人	102人	1,939人	2,131人
		3,386万円	216万円	51万円	3,653万円	(平成8年度登録実数)

お断り：人数にはその後の転入・転出等の出入りがあり、現在細部の調査を行っている部分があります。

## 法人化記念祝賀会 次第

開会挨拶

会長挨拶

法人化のみちのり紹介

ご来賓のご紹介

ご来賓の御祝辞

乾杯

(祝宴)

功労会員紹介

(祝宴)

御祝辞

(祝宴)

閉会挨拶 (謝辞)

## 祝賀会ご出席ご来賓

(平成9年4月5日現在での参加申し込みによる)

### 神奈川県教育庁関係

大谷 寿一 氏 (スポーツ課長)

(財)神奈川県育協関係

馬飼野正治氏 (副会長)

碓井 進 氏 (専務理事)

(財)全日本スキー連盟関係

堤 義明 氏 (会長)

北野 次登氏 (副会長)

八木裕四郎氏 (専務理事)

瀬尾 洋 氏 (常務理事)

池上 三紀氏 (常務理事)

古屋 学而氏 (監事)

大山 俊道氏 (事務局長)

加増 恵子氏 (事務局次長)

渡辺 真由氏 (事務局)

### 近隣都県連関係

井上 衛 氏 (東京都連 会長代行)

小川 和雄 氏 (東京都連 専務理事)

尾山 正人 氏 (東京都連)

金井英一郎氏 (千葉県連 会長)

茂木 孝也 氏 (千葉県連 顧問)

矢口 昭二 氏 (千葉県連 副会長)

三浦 英之 氏 (千葉県連 副会長)

前田 忠男 氏 (千葉県連 副会長)

富岡幸一郎氏 (千葉県連 理事長)

色摩三紀雄氏 (千葉県連副理事長)

大山 清 氏 (茨城県連会長)

### 神奈川県議会関係

南雲 勝利 氏 (神奈川県議会議員)

府川 勝 氏 (神奈川県議会議員)

### スポーツ団体関係

志村 真吾 氏 (卓球協会理事長)

岩間 栄 氏 (PWL-Japanスホ°-ツ振興協会)

桑原 由加 氏 (PWL-Japanスホ°-ツ振興協会)

支援団体 (協賛会員) 関係

山崎 和雄 氏 (信州総合開発観光株)

矢口 幸利 氏 (白馬五竜47観光協会)

下川 辰男 氏 (白馬五竜47観光協会)

鷺澤 博 氏 (白馬五竜47観光協会)

田中庄左工門氏 (白馬五竜47観光協会)

駒谷 嘉宏 氏 (白馬五竜47観光協会)

古川 裕幸 氏 (白馬五竜47観光協会)

高橋喜平太氏 (上越国際観光協会)

峠 英雄 氏 (上越国際観光協会)

熊木 茂 氏 (上越国際 アルパインホリ護城館)

黒岩 和人 氏 (野辺山 リゾートイン黒岩荘)

堀 弥兵工 氏 (蔵王 つるやホテル)

井上 伸文 氏 (株アルツ磐梯)

渡辺 孝志 氏 (株毎日ツーリスト)

伊藤 功 氏 (株毎日ツーリスト)

内島 悦雄 氏 (株シティフェイス)

荻野 恭宏 氏 (日新航空サービス株)

山口 定夫 氏 (山陽印刷株)

松岡 直史 氏 (日動火災海上保険株)

斎藤恵美子氏 (日動火災海上保険株)

小西 俊弘 氏 (株住友クレジットサービス)

藤井 好直 氏 (ノースランド出版株)

家住 進道 氏 (ボーヤノースランド株)

水島 秀夫 氏 (ミズシマホケンサービス)

(紙面の都合上、一部役職を省略させていただきました)

